

## 津市コミュニティバスにおける次期再編に向けて

### 1 再編に向けての検討

津市コミュニティバスは、第2次津市地域公共交通網形成計画に掲げる3つの方向性に基づき、令和3年4月に再編し運行しており、再編後のコミュニティバスの運行については、津市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」といいます。）において、数値目標を設定の上、その達成状況を毎年評価し、各ルートの評価結果を各地域で地域住民の代表や地区社会福祉協議会、交通事業者などを構成員として開催している地域公共交通あり方検討会等と共有した上で、地域住民の御意見をお聴きしながら、利用者の利便性が向上するよう改善を重ねながら運行しています。

しかしながら、各地域で開催している地域懇談会や地域公共交通あり方検討会等において、「コミュニティバスが運行していない地区にコミュニティバスの路線を延長してほしい」、「バス停留所までの距離が遠くて行きづらい」、「高齢になってきてバス停留所まで歩くのがつらい」、「利用が少なく、場合によっては空気を運んでいるという状態が見られる」等、ダイヤやルートが定まっている現行の路線定期運行での解決が困難な課題や要望について御意見を頂くとともに、デマンド型交通の導入を求める声も地域から多く頂いております。

本市では、このような課題を解決するため、現在のコミュニティバスの事業費を最大限に活用して各地域の課題に対応し、より多くの方に御利用いただくことを目標として、令和8年度の津市コミュニティバスの次期再編に合わせ、津市全域を見据え、これまでの路線定期運行のコミュニティバスに替わり、本市の特性に応じた「津市のデマンド型交通」の導入を検討してきました。

### 2 デマンド型交通の基本的な考え方

検討の上、次の5点を考え方として整理しました。

- ・ 津市コミュニティバスが運行している地域のみでなく、一部地域を除きコミュニティバスが運行していない津地域及び香良洲地域の現状や課題も踏まえ、津市全体を対象とするデマンド型交通の導入
- ・ 高齢者など移動手段を持たない方が、買い物や通院などの日常生活に必要な移動手段を確保することを最優先とする運行
- ・ 三重交通バス路線や鉄道との接続を考慮するなど、既存の公共交通が活用され、将来にわたって地域公共交通が維持されるような、既存の公共交通ネットワークとの連携
- ・ より多くの方に利用いただき、利用者が乗り合わせて目的地まで行っていただけるよう、自由経路ミーティングポイント型と定路線型の運行を組み合わせたデマンド型による運行
- ・ バス停留所までの距離を短縮するため、国土交通省が示す交通空白地に係る参考となる目安等を基に、原則、500m以内の徒歩圏内にバス停留所（ミーティングポイント）を設置

### 3 今後の取り組み

上記2の考え方を基にして、本市で検討したデマンド型交通について、現在、各地域の地域公共交通あり方検討会で本市の考え方の案として「資料3-2」、「資料3-3」及び「資料3-4」をお示しして御説明し、課題などの意見をお聞きしています。その後は、頂いた御意見を検討の上、修正などを行いまして、本市のデマンド型交通について、本協議会において御協議いただきたいと考えています。

# 津市コミュニティバスの次期再編に向けて



令和6年〇月〇日

## 現行のバス路線における課題

地域懇談会や地域公共交通あり方検討会などにおいて、課題や要望についてご意見を頂いています

- ▶ コミュニティバスが運行していない地区等からコミュニティバスの路線を延長してほしい
- ▶ バス停留所までの距離が遠くて行きづらい
- ▶ 移動手段がないので、運転免許証を返納したくてもできない
- ▶ 高齢になってきてバス停留所まで歩くのがつらい
- ▶ 利用が少なく、場合によっては空気を運んでいる状態が見られる

**課題・要望**



ダイヤやルートが定まっている路線定期運行では、課題の解決は困難

# 現行のバス路線における課題解決に向けて

現在のコミュニティバスの事業費を最大限に活用して、各地域の課題に対応し、より多くの方にご利用いただくことを目標とします

津市全域を見据え、これまでのコミュニティバスに替わり、本市の特性に応じた「津市のデマンド型交通」を導入します

## 運行方法

行きは、運行ダイヤ、バス停留所(ミーティングポイントといいます。)、目的地を予約の上、各々の箇所で乗車し、下車します。帰りは、予約した運行ダイヤのバスに目的地で乗車し、予約したミーティングポイントで下車します

## ミーティングポイント

バス停留所までの距離を短縮するため、原則、ミーティングポイントまで500m以内の徒歩圏内に設置します(三重交通バス路線の変更等により、ミーティングポイントも変更等する場合があります)

## 運行車両

10人～14人乗りの車両で運行を行う予定です(おおよそ全長5.3m、全幅1.8m、全高2.2m)



## 運行日数

買い物や通院等の生活の利便を勧奨し、週2日で計8～10便の運行を行う予定です

## 運賃

デマンド型交通の導入により向上する利便性や運行経費を踏まえ、運賃を設定する予定です

# 新たに「デマンド型交通」を導入することで便利になります！



**① より多くの地域の皆様にご利用いただけるようになります**

コミュニティバス停留所等がなかった地区にお住まいの方もご利用いただけるようになります

**② お家に近いところからご利用いただけるようになります**

コミュニティバス停留所から距離があった方や既存のバス停留所から距離があった方もお家に近い最寄のミーティングポイントから乗降いただけるようになります



**③ 高齢者等の方々が皆で楽しんで外出・交流しやすくなります**

ミーティングポイントからご近所の方等と乗り合わせて、交流しながら買い物などに行けるようになることで外出機会の増加にもつながります



**④ 予約があった場所だけ運行するため長時間の乗車が少なくなります**

予約があった時に予約の場所へ運行するため予約状況によっては所要時間が短くなります



**⑤ 既存のバス路線等により乗り継ぐことで広域的な移動ができます**

既存のバス停留所などへ接続することで広い範囲の移動が可能です



# 導入するデマンド型交通の考え方について (久居・河芸・芸濃・美里・安濃・一志・白山・美杉地域)

ミーティングポイント 設置場所	現行のバス停留所までの距離短縮や路線延長の要望に対応するため、各自治会に1か所から2か所程度を設置
目的地	移動ニーズのあるスーパーマーケット、医療機関、金融機関、公共施設等を目的地として設定 
運行ダイヤ	ミーティングポイントにお迎えに行くおおむねの時間と目的地に到着するおおむねの時間を予め設定し、予約のあった便のみ運行
利用対象者	1人で乗り降りすることができ(介護者が同乗する場合は可)、事前登録された方であればどなたでもご利用可能
運行の予約	利用者から運行事業者のコールセンターに電話にて予約 
運行方式	予め定めた到着時間を目安に予約のあったミーティングポイントを回り、利用者が乗り合わせて目的地まで運行 

# 導入するデマンド型交通のご利用イメージ (久居・河芸・芸濃・美里・安濃・一志・白山・美杉地域)

## 1. 予約



〇〇と申しますが、  
〇月〇日の第〇便で、〇〇  
ミーティングポイントから〇〇  
病院の停留所まで予約をお  
願います。

ご予約承りました。  
到着時間については、予約  
状況に応じて、改めてご連絡  
いたします。  
帰りの便も予約できますが、  
いかがですか。



オペレーター



帰りの便は、第〇便で、〇〇  
病院から〇〇ミーティングポイ  
ントまで予約をお願いします。

帰りの便のご予約も承りまし  
た。到着時間については、予  
約状況に応じて、改めてご  
連絡いたします。



オペレーター

## 2. ミーティングポイントへ



受付終了後、オペレーターから  
到着時間を連絡します。到着時間の5分  
前までにミーティングポイントにお越し  
ください。

## 5. 三重交通バス を乗り継ぎ他の施設へ

広域移動が可能となります。



## 4. 目的地に到着

### 医療機関



### 公的機関



### スーパーマーケット



## 3. 目的地へ運行

他の利用者と乗り合って  
目的地へ向かいます。



# 導入するデマンド型交通の考え方について(津・香良洲地域)

## ミーティング ポイント 設置場所

三重交通バス路線を利用しにくい交通不便地区に1か所から2か所程度設置  
※交通不便地区:国土交通省による目安等に基づき、三重交通バス停留所及び鉄道駅から半径500mを超える箇所

## 目的地

三重交通バス停留所に接続することを原則とし、比較的運行本数が多い三重交通バス停留所を目的地として設定  
日常生活に必要な買い物に対応するため、運行エリア内に、スーパーマーケット1か所を設定



## 運行ダイヤ

ミーティングポイントにお迎えに行くおおむねの時間と目的地に到着するおおむねの時間を予め設定し、予約のあった便のみ運行

## 利用対象者

1人で乗り降りすることができ(介護者が同乗する場合は可)、事前登録された方であれば交通不便地区以外の方でもご利用可能



## 運行の予約

利用者から運行事業者のコールセンターに電話にて予約

## 運行方式

予め定めた到着時間を目安に予約のあったミーティングポイントを回り、利用者が乗り合わせて目的地まで運行



# 導入するデマンド型交通のご利用イメージ(津・香良洲地域)

## 1. 予約



〇〇と申しますが、  
〇月〇日の第〇便で、〇〇  
ミーティングポイントから〇〇  
の停留所まで予約をお願い  
します。

ご予約承りました。  
到着時間については、予約  
状況に応じて、改めてご連絡  
いたします。  
帰りの便も予約できますが、  
いかがですか。



オペレーター



帰りの便は、第〇便で、〇〇の  
停留所から〇〇ミーティングポ  
イントまで予約をお願いします。

帰りの便のご予約も承りまし  
た。到着時間については、予  
約状況に応じて、改めてご  
連絡いたします。



オペレーター

## 2. ミーティングポイントへ



受付終了後、オペレーターから  
到着時間を連絡します。到着時間の5分  
前までにミーティングポイントにお越し  
ください。

## 3. 目的地へ運行

他の利用者と乗り合っ  
て目的地へ向かいます。



## 4. 目的地に到着

スーパーマーケット



## 5. 三重交通バスを乗り継ぎ他の施設へ

三重交通バスに乗り継ぐことで、広域移動が可能となります。





# デマンド型交通導入に向けた実証実験運行の実施 (久居・河芸・芸濃・美里・安濃・一志・白山・美杉地域)

## 実施目的

実際に利用者からの予約を受け、運行することで利用者の待ち時間や目的地への到着時間、運行等の課題や問題点を検証

## 実施地域

本市は市域が広く、居住地域、道路、利用者の状況が異なることから、津市コミュニティバスが運行している地域を「市街地」、「中山間地」に分け、それぞれ1地域で実施

## 「市街地」

比較的人口密度が高くミーティングポイントが地域内に密集した地域  
(久居地域、河芸地域、安濃地域、一志地域)

## 「中山間地」

比較的人口密度が低くミーティングポイントが地域内に分散している地域  
(芸濃地域、美里地域、白山地域、美杉地域)

## 実施地域の 検討

「市街地」及び「中山間地」で想定される課題や問題点をそれぞれ整理し、実証実験運行の効果が得られやすい地域にて実施予定

# デマンド型交通導入に向けた実証実験運行の実施(津・香良洲地域)

<b>実施目的</b>	実際に利用者からの予約を受け、運行することで利用者の待ち時間や目的地への到着時間、運行等の課題や問題点を検証
<b>エリア区分</b>	津地域及び香良洲地域のうち、中学校区単位を基本とした運行エリアの中から、1エリアで実施
<b>運行エリア</b>	【①橋北・東橋内エリア・②橋南・南が丘エリア】 【③西橋内・西郊エリア】【④一身田エリア】【⑤豊里エリア】 【⑥南郊エリア・⑦香良洲地域】
<b>実施地域の検討</b>	運行エリアの中で想定される課題や問題点を整理し、実証実験運行の効果が得られやすいエリアで実施予定



# 【美杉地域】

運行図

